

理学系研究者への道程

理学部を卒業した学生のほとんどが修士課程へと進み、そしてそのほぼ半数が博士課程へと進む。

それは研究者としての人生を選択し、リガクの最先端を突っ走るということ。

ここでは、東大理学部から研究者へと歩む道のりを解説していこう。

「進学振り分け」はこんな仕組み

文科一類～三類、理科一類～三類というように、学部ではなく科類ごとに募集がおこなわれるのが東京大学の特徴だ。入学した学生は、前期課程の2年間は教養学部にも属し、はじめの1年半を駒場キャンパスで学ぶ。前期課程の残りの半年は、進学が内定した後期課程の学部・学科の専門教育科目を学ぶというシステム。

教養学部から次に進学する後期課程の学

部・学科を決定するのが、2年次でおこなわれる進学振り分け、いわゆる「進振り」だ。

各学部・学科ごとに定員があり、成績順に内定者が決められるので、2年夏学期までの基礎科目と総合科目・主題科目の成績が重要な進振りの基準となる。

進振りの基準枠には「指定科類枠」と「全科類枠」の2種類がある。「指定科類枠」は、学部・学科がそれぞれ進学できる科類を設

定しているもの。「全科類枠」は、どの科類からでも進学が可能なものである。

理学部に進学する場合、理科一類～三類の学生は、必修科目と選択科目で単位を揃えることになる。一方、文科一類～三類から理学部に進学するには、進学希望の学科ごとに履修すべき科目「要求科目」が指定されているので、必修科目に加えて指定される理系科目の履修が必要となる。

理学部・理学系研究科へ進むための進学ルートMAP

学部前期課程(1,2年)

- ・その他後期日程で100人
- ・募集人員は2013年度(平成25年度)進学分
- ・人数はすべて予定数
- ・このほか、教養学部に進学する道もある
- ・2006年度(平成18年度)入学の学生から、すべての科類からどの学部にも進学できる「全科類枠」が導入された

理科一類
募集人員 1108人

理科二類
募集人員 532人

理科三類
募集人員 100人

文科各類
基本科類定数 1223人

学部後期課程(3,4年)

工学部
945人
(進学定数)

農学部
290人
(進学定数)

薬学部
80人
(進学定数)

医学部
140人
(進学定数)

理学部 297人 (進学定数)

数学科 45人

情報科学科 28人

物理学科 70人

天文学科 9人

地球惑星物理学科 32人

地球惑星環境学科 20人

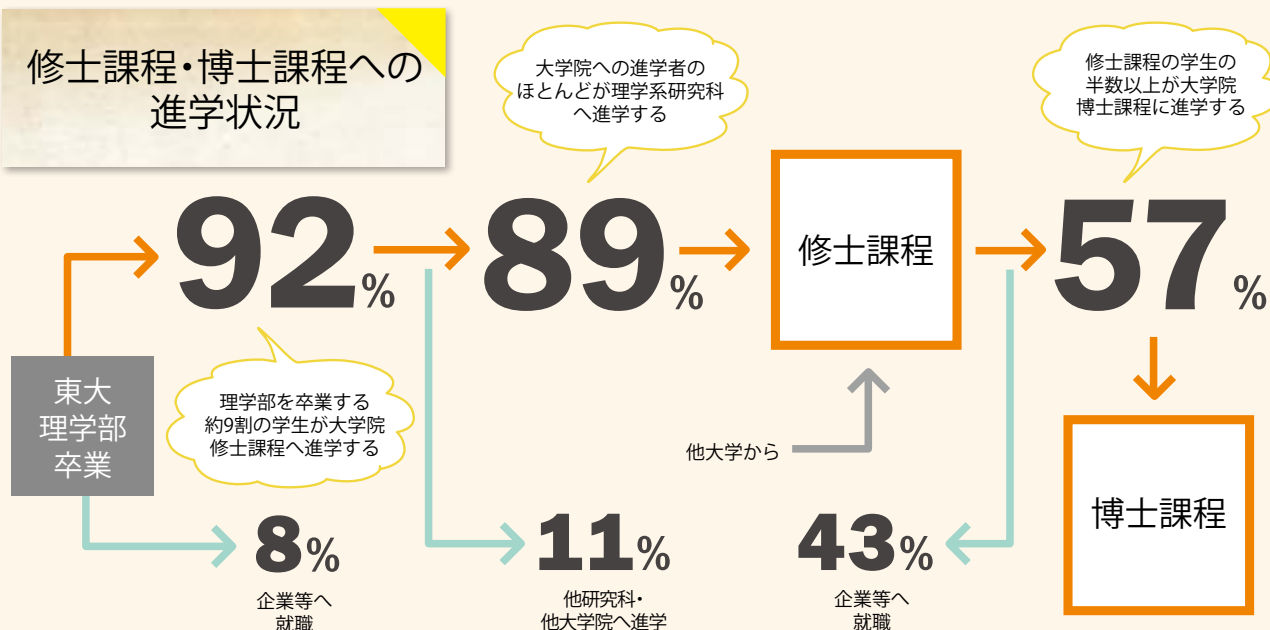
化学科 45人

生物化学科 20人

生物学科 20人

生物情報科学科 10人

修士課程・博士課程への 進学状況



大学院

